

地域の中核、
世界の人材

山梨大学の紹介

山梨大学総務部人事課

平成30年7月28日(土)

UNIVERSITY OF YAMANASHI

1. 山梨大学

山梨大学

- 1795年江戸昌平坂学問所の分校として
甲府学問所徽典館設立
- 1924年国立山梨高等工業学校創立
- 1949年国立山梨大学（学芸学部、工学部）
- 1978年山梨医科大学開学
- 2002年10月旧山梨大学と山梨医科大学が統合し、山梨大学が開学
- 2004年国立大学法人山梨大学が発足



山梨県唯一の国立大学、甲府市と中央市の2つのキャンパス
教育学部、医学部、工学部、生命環境学部の4学部、教育学研究科、医工農
学総合教育部の2大学院（学生約5,000名、教職員約1,800名）
医学部附属病院での高度な医療、附属学校園での特徴的な教育活動、
センター等での専門分野に特化した先端的な研究活動
（ワイン、クリーンエネルギー、発生工学等）

1. 山梨大学



新宿駅から甲府駅まで
特急電車(JR中央本線)で約90分



甲府キャンパス

- 甲府キャンパス
(教育学部・工学部・生命環境学部)
〒400-8510
山梨県甲府市武田4-4-37

★JR甲府駅北口より徒歩約15分



医学部キャンパス

- 医学部キャンパス
(医学部・附属病院)
〒409-3898
山梨県中央市下河東1110
- ★ JR (身延線) 常永 (じょうえい) 駅から徒歩約15分

2. 学生数・職員数

山梨大学



学生

学部、大学院：約4,800名
附属学校園：約1,200名



教員：
約800名

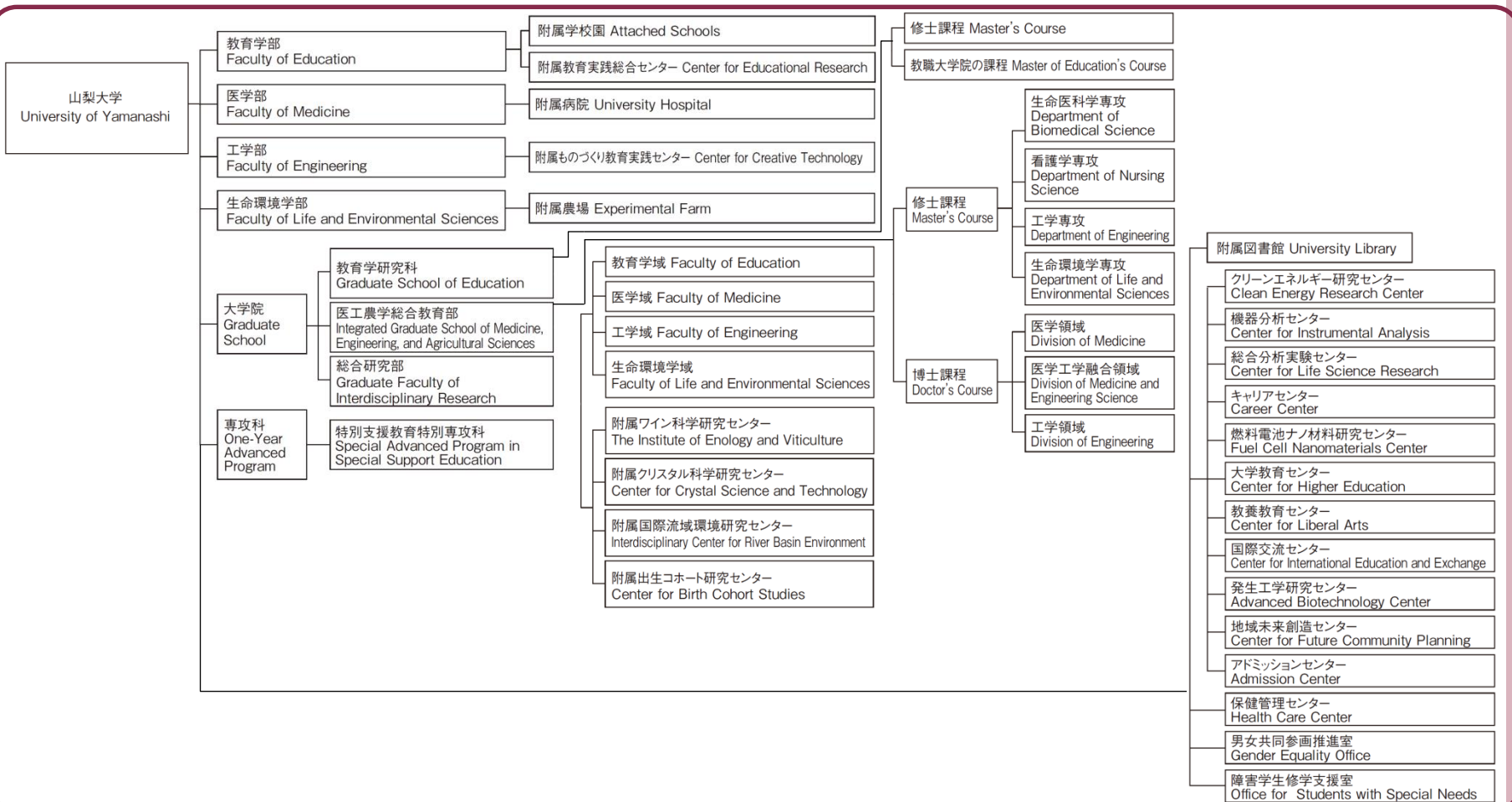


一般職員：
約300名



医療職員：
約790名

3. 組織図

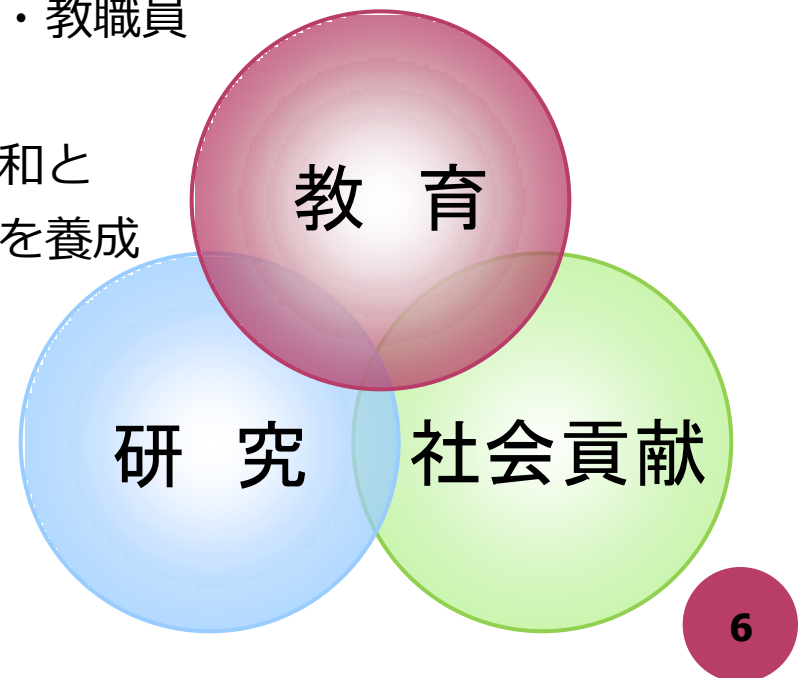


4. キャッチフレーズ

「地域の中核、世界の人材」

山梨大学は、豊かな教養と高い倫理性を持ち、
広い教養と深い専門性を身につけた学生・教職員
を育むことにより、知と技術における

「地域の中核」となると同時に世界の平和と
人類の福祉に貢献できる「世界の人材」を養成
することを目標としています。



5. 教育・研究・社会貢献

本学の目標（山梨大学憲章より）

- 未来世代へ配慮した教育研究
- 諸学の融合の推進
- 世界的研究拠点の形成
- 国際社会で活躍する人材の育成
- 地域から世界へ
- 現実社会への還元



■ 発生工学研究センター

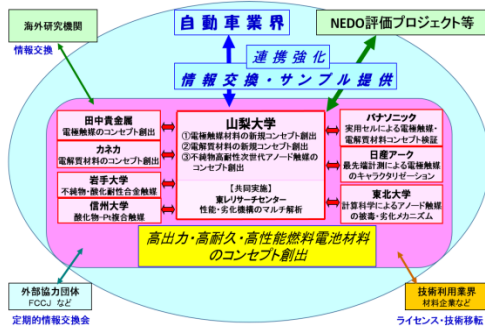
世界最大規模の研究設備で、マウスを使った体細胞クローン技術、生殖細胞のフリーズドライ化保存技術、宇宙での生殖などを研究。



■ ワイン科学研究センター

国立大学では唯一のワイン研究センター。世界的な視野に立ち、先端的な細胞工学・遺伝子工学技術による基盤研究から最新のブドウ栽培・ワイン醸造の実用研究までを包括。

「高出力・高耐久・高性能燃料電池材料のコンセプト創出」



■ 燃料電池ナノ材料研究センター

燃料電池の実用化・本格的普及に向けて、国内外の大学・企業とともにナノテクノロジー技術を駆使した最先端の研究を実施。



他にも、各学部・センターでそれぞれ大きな成果



5. 教育・研究・社会貢献

本学の目標 (山梨大学憲章より)

- 未来世代へ配慮した教育研究
- 諸学の融合の推進
- 世界的研究拠点の形成
- 国際社会で活躍する人材の育成
- 地域から世界へ
- 現実社会への還元

- 地(知)の拠点整備事業 (大学COC事業)
「山梨ブランドの食と美しい里づくりに向けた実践的人材の育成」

2014年に文部科学省に採択されたプロジェクト。全学的な地域志向型教育カリキュラムの展開及び自治体等との協働を通じて、地域の食・環境・経済の問題解決と若者の地域定着を図り、持続的に繁栄する地域社会の構築を目指す。

- ・ 学生：地域志向型教育カリキュラムを介して、地域の課題抽出とその解決能力を身に付ける。
- ・ 教職員：共同研究先の機関・企業・団体及び学生と一体となり取り組み、その成果を地域の課題解決に役立てる。



平成27年度
地(知)の拠点大学による
地方創生推進事業

COC+

Center of Community Plus
オールやまなし11+1大学と
地域の協働による未来創生の推進

- 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+)
「オールやまなし11+1大学と地域の協働による未来創生の推進」

県内の全大学及び地域機関の協働により、若者に魅力ある県内就職先の創出・開拓と、実践的な地域志向型人材の育成を目指す。

- ・ 「ツーリズム」「ものづくり」「子育て支援」「CCRC」の4つのテーマを中心に、新規事業化による雇用創出を図る。
- ・ 県内に立地する11の大学・短期大学及び横浜市立大学が連携し、新規事業分野と連動した実践的カリキュラムやインターンシップを実施。学卒者の地域定着を図る。



- 包括的連携協定

- ・ 地方自治体：山梨県、甲府市、中央市、他6市町村
- ・ 公益法人：山梨県ワイン酒造組合、甲府商工会議所、山梨県水晶宝飾連合会、他2法人
- ・ 企業等：(株)山梨中央銀行、東京エレクトロン株式会社、(株)はくばく、他6企業

ツーリズム、ものづくり、子育て支援、CCRC。
未来の山梨をつくる若者を地域でサポート。

5. 教育・研究・社会貢献

本学の目標（山梨大学憲章より）

- 未来世代へ配慮した教育研究
- 諸学の融合の推進
- 世界的研究拠点の形成
- 国際社会で活躍する人材の育成
- 地域から世界へ
- 現実社会への還元



□ 医学部附属病院

山梨県内唯一の特定機能病院。
手術台と心・血管X線撮影装置を組み合わせた本格的ハイブリッド手術室、手術支援ロボット「ダビンチSi」専用手術室など最先端の医療設備を備えた新病棟や、先端的な放射線治療設備を備える「山梨PET画像診断クリニック」などを持ち、安全・安全かつ高度で質の高い医療を地域に提供。



□ 公開講座

連続市民講座、市民公開授業、県民コミュニティーカレッジ等

□ その他

- ・ヴァンフォーレ甲府との提携
- ・富士山救護所への職員派遣（ボランティア）等



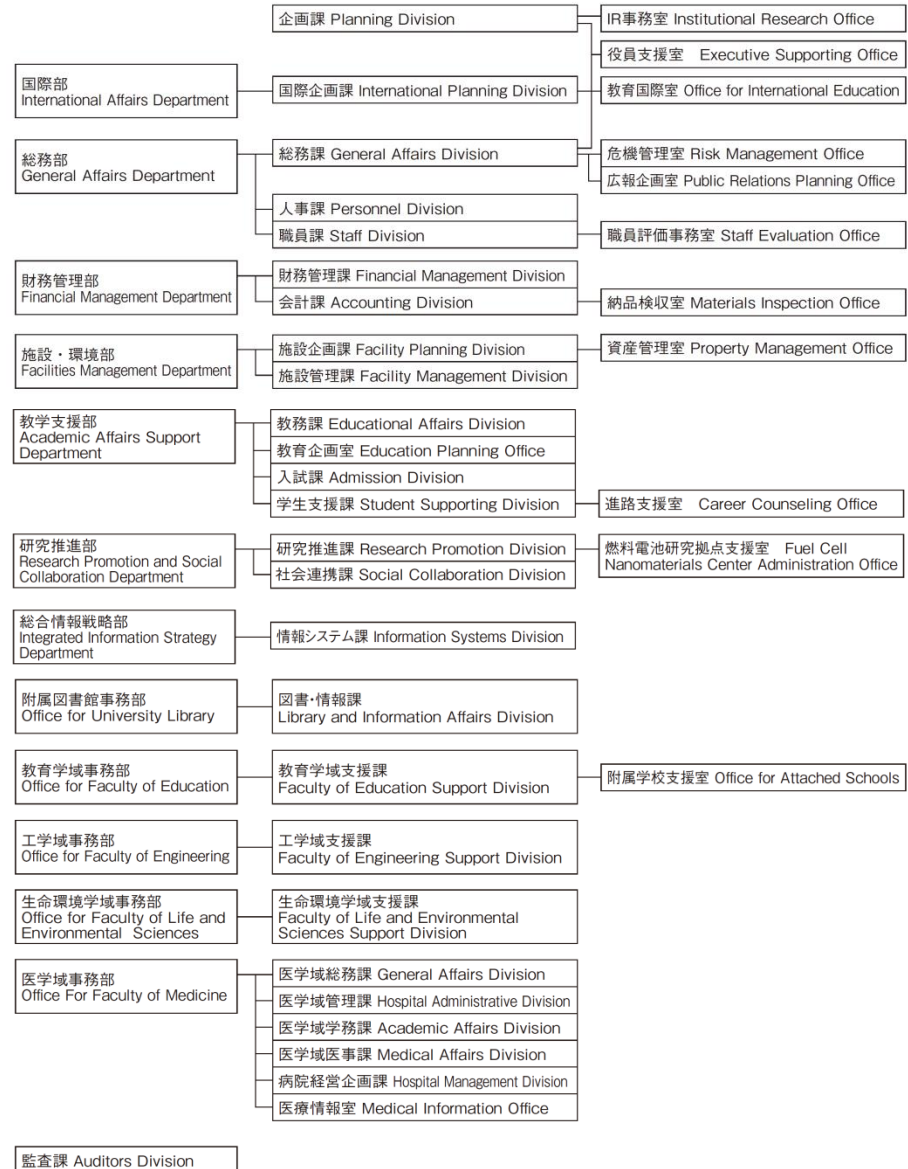
□ リエゾンアカデミー／ ライフサイエンス特進コース

基礎研究医早期育成のための教育プログラム。
研究医を目指す学生に対し、学部・大学院を融合させた一貫教育体制を提供。



6. 事務組織

- 企画課
 - 大学の将来構想、中期目標・中期計画の策定
- 総務部
 - 大学事務の総括・調整、会議式典運営、規則制定、教職員の採用、給与、福利厚生、人事、研修
- 財務管理部
 - 予算、決算、資金計画、運用、調達・契約等会計業務
- 教学支援部
 - 履修・成績管理、入試、就職支援、学生相談
- 研究推進部
 - 産学官連携の企画推進、外部資金の獲得受入、知財戦略
- 総合情報戦略部
 - 情報戦略の企画、情報セキュリティの管理
- 国際部
 - 海外協定校との連携、留学生受入れ、国際教育
- 各学域事務部
 - 各学域の総務・教務、附属病院の総務、研究協力、経営に関する企画、情報管理、患者受付、診療報酬請求
- 附属図書館事務部
 - 図書の貸出、購入、受入、配架、保存、管理業務
- 施設・環境部（施設系技術職員）
 - 大学キャンパス施設の整備計画・企画、建設工事の設計・積算・施工管理、設備の維持保全
- ◆ 教室系技術職員
 - データ解析、観測技術の開発、実験装置の設計・製作
学生実習・実験などの技術指導・技術管理



7. 勤務条件等について

勤務条件

勤務時間	8時30分～17時15分（休憩12時～13時）
休日	土、日、祝日、年末年始（12/29～1/3）
休暇等	年次有給休暇：年間20日、4/1採用の場合15日 特別休暇：夏季休暇、結婚、出産、忌引き等 その他：病気休暇、育児休業、介護休業等
初任給等	初任給：約17万円～20万円程度 （学歴や採用前の職歴により決定） 各種手当：期末・勤勉（6月・12月）、通勤手当、住居手当、 超過勤務手当等
勤務地	甲府キャンパス（甲府市）、医学部キャンパス（中央市） ※事務職員はキャンパス間の異動有

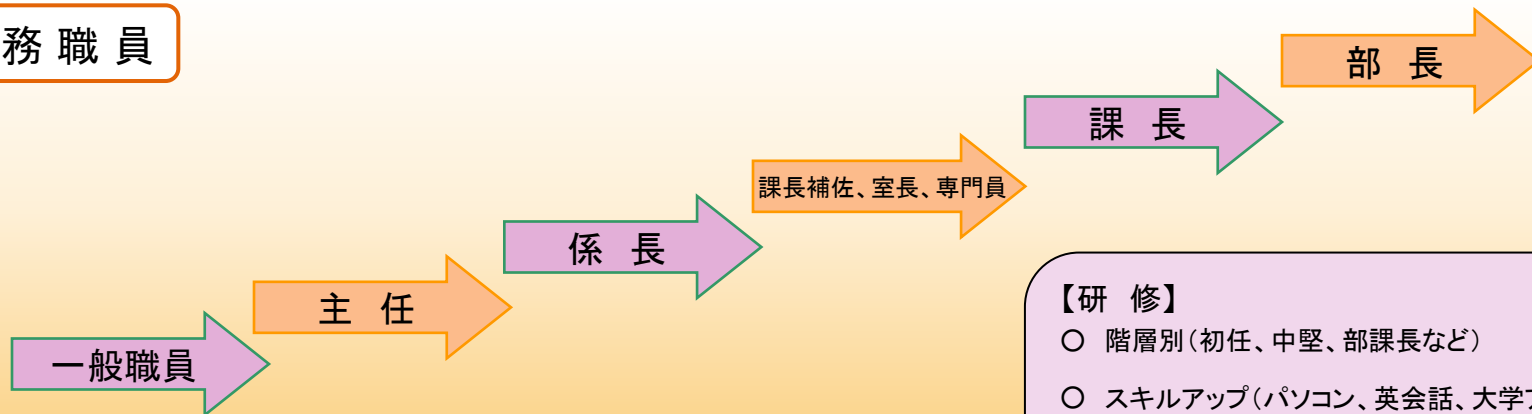
7. 勤務条件等について

福利厚生

共済組合	文部科学省共済組合に加入（国家公務員と同様） 短期給付、長期給付、積立貯金、各種貸付制度
宿 舎	各キャンパスに独身用，世帯用の宿舍有 ※空き室状況により入居可能 ※家賃はおよそ8千円～2万円程度
職員厚生	健康診断や人間ドックを実施
学校施設	体育館，グラウンド，テニスコート，プール等の体育施設を昼休み や勤務時間終了後や休日に使用可能

8. 人材育成等について

事務職員

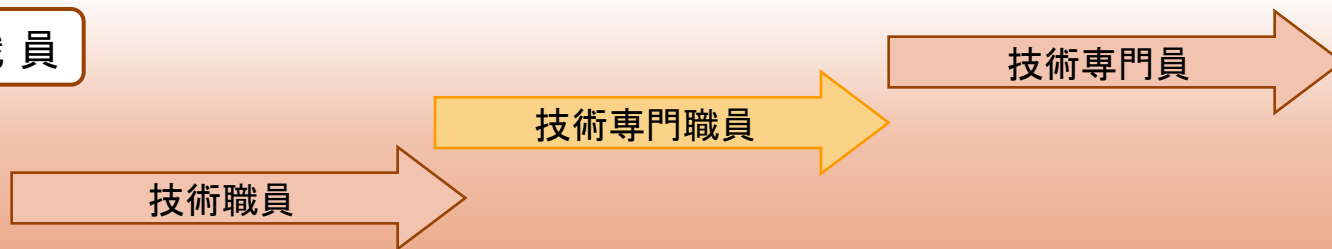


- 3年程度で異動し、いろいろな業務を経験
- 大学全体をみることのできるゼネラリストとして育成

【研修】

- 階層別 (初任、中堅、部課長など)
- スキルアップ (パソコン、英会話、大学アドミニストレーターなど)
- 専門分野別 (会計研修、学生補導研修など)

技術職員



- 採用された部署内で業務を経験
- 専門知識を有するスペシャリストとして育成

9. 山梨大学を創る人材

向上心があり、どんな業務にも適応
できる柔軟な人材

多種多様な業務・問題に柔軟に対応し、物事に積極的にチャレンジしようという向上心のある方と一緒に仕事をしたいと思っています。

お問合せ先

山梨大学に関するお問合せ

山梨大学総務部人事課任用・サービスグループ

担 当：笠井、細野、清水、長沼

住 所：〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37

電 話：055-220-8742（9:00～17:00、土・日・祝日を除く）

e-mail：ninyou-g@yamanashi.ac.jp

国立大学法人等職員全般に関するお問合せ

関東甲信越地区国立大学法人等職員採用試験事務室

住 所：〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本部内

電 話：03-5841-2769、2770（9:30～17:00、土・日・祝日を除く）

e-mail：shikenjimu@adm.u-tokyo.ac.jp

U R L：http://ssj.adm.u-tokyo.ac.jp/

最後に

山梨大学は**若い力**を必要としています。

あなたの**熱意、経験、才能**を活かしてこれからの山梨大学を**一緒に創りましょう！**

UNIVERSITY OF YAMANASHI